

# 新鋭消防車を寄贈

## 日本損害保険協会

あいにくの雨となった八月二十八日、消防署へ高性能ポンプ車が配置され、「火災保険号、南国市」と命名、市民のくらしを守るエースに就任しました。

この消防車は、日本損害保険協会（保険会社二十一社で組織し、各種防災事業を行い、消防車や救急車など、数多くの防災設備の寄贈を行っています。）から寄贈されたもので、性能は毎分二千八百リットル以上の放水量を持つポンプと、油火災に備えて空気泡原液百リットル、粉末消火器を積んで最高の水準を誇っています。



新鋭車は、消防署での寄贈式の後、後免東町駅、国鉄後免駅、市役所までをパレード、市役所で放水して、その高性能を市民にひろうしました。

日本損害保険協会からは、昭和

## ジェット機の騒音にそなえ

### 校舎防音工事（一期）終る

長校  
香中 学 校

高知空港のジェット機に伴う騒音対策の一環として取り上げられた、香長中学校（耕崎校長、生徒五百七十七名）の校舎防音工事（二期工事）が、夏休み期間中にほぼ完成しました。

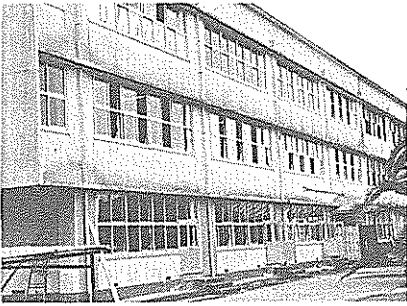
同校の防音工事は、ジェット機就航の際に騒音による授業への影響が心配されるため、運輸省の補助を受けて継続的に行われるものです。

今年行われた一期工事は、校舎の西側のほぼ三分の一を対象で、九教室、美術室、保健室などです。工事は「窓」を五リガラスの入ったアルミサッシにした他、天井・壁面の防音や空調施設を整備するなど、全体の工事費は四千五百

四十三年にも消防車をいただき、今回が二台目です。新鋭車の価額は約八百万円といわれ、財政再建の南国市にとってはありがたいことですが、この新鋭車が活躍することのないよう祈りたいものです。なお、四十三年に配備された消防車は、伊野町の消防学校で、新しい消防活動の教材として役立っています。

五十五万円となっています。

なお、残り三分の二の防音工事については、引き続き来年度以降も行われることになっており、五十八年度には完了する予定です。



# 気合も十分 少年剣士



「オリヤ、ヤ、メン」と

気合の入った子供たちの元気な声。

夏休み最後の八月三十一日、日章小学校体育館では、第一回南国市小年剣道大会が行われました。

まだまだ残暑も厳しく、蒸し風呂のような体育館では、濃紺のかまと重そうな防具を身に付けたチビツ子剣士が、暑さを吹き飛ばすような大きな掛け声で、打ち合っています。中には、白はかまの女子も。

試合を待つ勝ち気そうな五年生の男子に聞いてみたら、「竹刀で、たたき合いができるのがとても楽しい。」と卒直な気持ち。見守るおかあさんは、「剣道は、身体だけでなく精神面を鍛えることができて、また姿勢も良くなるので始めさせました。」と、なかなか考えがあり

ます。

現在、南国市では約百名の小年小女が、練習に励んでいます。このように一同に集まって行う大会ができたことは、子供たちにも目標になり、また、違った練習にもなり、父兄の皆さんもとても喜んでいきます。

なお、個人戦の成績は次のとおりでした。

- ◎5・6年男子……一位 吉永孝彦、二位 古味高志、三位 福永明男。
- ◎4年以下男子……一位 黒岩康文、二位 吉永賢司、三位 岩原寛克。
- ◎女子の部……一位 石川みどり、二位 池田佳依、三位 筒井美季。